

県内唯一の社会派情報誌

2004年 第15巻第6号通巻134号  
1994年1月21日第三種郵便物認可

# 月刊タクティクス

東北文化学園大学

## 「薬学部」誘致失敗の余波

何故、見抜けなかった堀田元理事長の素行！藤森市長の「文部省でさえ…」は通用しない！重大な政治的責任を、市民にはどう説明するのか！

## 猪苗代町が東信・東條社長に「牛耳られる、ワケ！」

津金町長の先見性の甘さと県にも見透かされた「東條支配」の実態！

今度は、アパートオーナーが自殺！！  
土地持ち農家を食い物にする  
積水ハウスとJA関係者！？

今犯人像まで克明に  
語られる【福島サテイ】  
少女レイプ事件の真相！

## 新井田社長は、不可解な退任で高額の退職金を受け取るのか？

幸楽苑の高配当は社長を太らせただけ！

北塩原村、企画財政課長の  
「失踪」で噴出した「高橋  
村長のワンマンぶり」と疑  
問だらけの「自立宣言」！

歪んだ村政に指摘される特定業者との仲とは？

## 坪井会頭、八期目に意欲も 経済界に渦巻く憶測！？

混沌とする福島商議所会頭の行方！

談合疑惑にまみれた業者が落札する公共  
施設(福島大学、会津大学)の管理業務  
実態は県の入札制度の欠陥か？

ハローワークに一言！コラッセふくしまの役割って？

SPOT  
スポット



会津若松市議会  
二枝幸徳議員

FILE  
人物ファイル



郡島村  
渡辺唯四郎村長



# 土地持ちの農家を食い物にする 積水ハウスとJJA関係者達!!

典部長がいるのだそうだ。この方は、集合住宅の統括、つまりアパートを建てることのエキスパートだと言われ、東北営業本部内でも数十回も表彰を受けているという大ベテランのようだ。

今から約四年前のことらしいが、郡山市八山田地区にHさんという大地主の農家の方が居られた。この方は倉庫業を営ま

れたり、アパートを六、七棟持たれていたという。土地もけっこう所有していた為、節

税という考えからか更にアパートの建築を進めようと、積水ハウス郡山南営業所に発注したのだそうだ。ところが、このHさん

はよくよく考えた末、このアパートの建設を見合わせることにし、郡山支店を訪れ担当だ

たとされる岡部長に直接キャンセルの意思を伝えたのだという。しかし、岡部長はすでに工

樹木に首を吊り自らの命を絶つてしまったというのだ。この時の事を詳しく知る事情

が、Hさんが死を選じたことに関し積水ハウス郡山支店に赴いて「あまり酷い事をするんじゃない」と担当者に怒鳴り込んだという話を聞いています。社

員だけを自殺に追い込んでいたのではなく、このようにアパートのオーナーまで自殺に追い込むという、数字だけを追い求める会社なんですよ」と語っている。社には「お客様本位」を掲げながら、施主たるお客様まで自殺に追い込んでしまったという、あまりにも卑劣な企業体

質が現れている逸話である。東北営業本部、内部監査を受け

前号までに阿部俊則・東北営業本部長主導のもと、納税額を抑える為なのか、接待交際費であるものを仙台市に本社のある広告代理店第一エージェンシーを経由させ、全額経費として計上の出来る宣伝広告費にすり替えてきたこと、つまり脱税行為を報じてきた。この記事内容には、仙台国税局の査察官も重大な関心を持ったことが、本誌に伝えられていたが、それより早く、大阪の積



内部監査の行われ、この行為は東北営業本部に入ったと、和田勇社長が痛く

積水ハウスの側とHさんとの間で擦った揉んだし、精神的に疲れ切ったHさんは、遂に

積水ハウスの側とHさんとの間で擦った揉んだし、精神的に疲れ切ったHさんは、遂に

積水ハウスの側とHさんとの間で擦った揉んだし、精神的に疲れ切ったHさんは、遂に

積水ハウスの側とHさんとの間で擦った揉んだし、精神的に疲れ切ったHさんは、遂に



執行役員も一時保留となったと  
言われる阿部俊則 本部長

## 積水ハウスとJ.A 関係者の癒着

積水ハウスの接待攻勢と言え

語るには、これも内部から漏れ  
伝わってきた話だが、前身で「阿  
部本部長は部下が亡くなる度に  
出世する」と書き、執行役員と  
なったことを記していた。しか  
し、本誌記事の影響なのか、残  
念ながら阿部本部長の執行役員  
ポストは内部保留となったと言  
われている。もし、本誌記事が

ば、何と言っても土地持ちの農  
家である。日本全国どここの農家  
も後継者問題で頭を悩めており、  
特に市街化区域内の農地は宅地  
並みの課税対象ともなることが  
ら、税金対策も頭痛の種となっ  
ている。

ただ単に面白おかしく書くだけ  
の捏造記事であったとしたなら、  
阿部本部長の出世には全く影響  
が出ない筈である。本当に役職  
にストップが掛かり、万が一見  
送られるようになったとしたな  
ら、それは、社内的に何らかの  
不祥事が発覚したことの裏付け  
であろう。どのように事が推移  
するのかが今後を待たなければ  
分からないが、近い将来、必ず  
明らかになることだろう。

どこのハウスメーカーもこの  
ような土地持ちの農家はターゲッ  
トとしては最良のものである。  
何故なら、生涯に一戸建てるの  
が限界というサラリーマン家庭  
などと違い、アパートという集  
合住宅は金額のボリュームも大  
きく、土地さえあれば一棟に限  
らず何棟でも建てて貰うことが  
出来る可能性があるからだ。つ  
まり、土地持ちの農家はハウス  
メーカーにとっては「おいしい」  
存在なのである。

建坪単価五十万円前後かかるア  
パート建設（特に積水ハウスは  
割高と言われる）に自己資金だ  
けで対応できる農家は少ない。  
当然、土地、建物への担保を付  
けた融資を受けることになる。  
農業という業種の特性から、当  
然、融資には銀行よりは地元の  
農協（J.A）が絡んでくる。そ  
れに、アパート経営には独自の  
ノウハウを持った不動産管理会  
社とのタイアップも必要となっ  
てくる。建築はハウスメーカー  
が行い、入居者の募集や修理管  
理に関してはハウスメーカーと  
直結した管理会社と長期契約を  
する、というのが一般的となっ  
ている。その管理会社というの  
が曲者なのだが、当初は高い入  
居率を保証して契約を結ぶが、  
アパートが傷んでくると、その  
修繕を自らの系列のハウスメー  
カーに行わせ、もし、それを行  
わない時には入居の保証率をグー  
ンと下げてくるのである。

が、修繕費や管理費などを考慮  
すると、そのような結論になっ  
てくる。本誌は事実を言ってい  
るだけで、これからアパート経  
営をする方にやめると言ってい  
るのではないし、他人の経営手  
腕を鼻から否定するものではな  
い。ただ、このようなプロセス  
を踏んでアパート建設に向かう  
中で、積水ハウスと特殊な関係  
の人達との癒着の構造があるこ  
とを指摘したいのだ。

実名で寄せられているが、本誌  
は、その現場を見た訳ではない  
為、実名の表記は避けるが、農  
家の方々のアパート建設の陰に  
は、農家を食い物にしていると  
しか思えない、積水ハウスとJ  
A関係者の特殊な癒着の構図が  
見て取れるのである。  
当然、接待費というものは、  
接待される側の足を食べている  
ようなもので、工事代金の中に  
しっかりと科目を変えて組み込  
まれていることを、よくよく施  
主達は考えてみる必要があると  
思われるが、いかがだろうか。  
それにしても、J.A関係者は  
内部的にはまずいだらうが、た  
だ単に、農家を食い物にしてい  
るだけのものだが、積水ハウス  
の別の組織に対する決してオー  
バーな表現ではない酒池肉林の  
接待攻勢によって引き出す顧客  
情報は、本誌が知る限りでは紛  
れも無い違法行為であると思わ  
れる。次号で報じてみたい。